

# 報 告 書

開催日時	令和 3年 11月 9日 17時 00分 ~ 18時 00分		
自治協議会名	新居地区住民自治協議会	開催場所	新居地区市民センター
出席議員	釜井敏行 川上善幸 近森正利 山下典子		
	班 長	山下典子	記録・報告者 釜井敏行
参加人数	5 名		

## 【主な意見・提言等】

### <成人式について>

- ・18歳での成人式の実施は市長の独断のように感じる。民意を軽視しているのでは。
- ・早く結論を出してあげてほしい。

⇒元通りにしてほしいという思いは議員としても持っているので、安易に予算には賛成できない。

⇒究極的には市長の不信任という手段もあるが、議会の解散の可能性もあるので慎重に考える必要がある。

### <公共交通について>

- ・廃止代替バスの利用推進につとめているが、利用者を増やすのは困難。
- ・儲からなくても公共交通機関を保障するのは市の責務ではないか。
- ・赤字なのは分かるが、トイレなど税金の使い方にも問題があるのではないか。

⇒市の責務としては地域運行バスに対する補助という形が現実的。

⇒公共交通の路線の見直しも積極的に提案してほしい。

### <通学路の安全について>

- ・子どもを交通事故から守る条例について、なぜ反対したのか。なぜ我々各団体にアンケートが送られてきたのか。
- ・県道高倉佐那具線の時間制一方通行を実施してほしい。
- ・子どもを交通事故から守るためもっと根本的に予算を増やしてほしい。

⇒新しく条例をつくるのではなく、今ある制度をブラッシュアップすれば良いと考え反対した。

⇒議会の仕事は条例の制定であり、予算化をしやすいよう条例を提案した。

⇒条例の反対の理由に「もっと地域の声を聞くべき」という声があったので実施した。

⇒農業用水路に蓋をつけることに関しては、申請があれば材料費の補助が出る。

### <消防団について>

- ・会社勤めの消防団員の出勤について、職場の理解が得られていない状況がある。
- ・消防団員の負担軽減、待遇改善をどのように進めていくのか。
- ・年末夜警はサイレンを鳴らして行ってほしい。

⇒消防本部にも声が届いており、対応を検討している。

⇒伊賀市消防団活性化検討委員会で班編成や待遇、定員などについて検討している。

⇒操法大会については、来年は予定通り行うが、それ以降は競い合うようなものはやめ、本来の目的に沿ったものにする。出初式や夏期訓練も半日にする予定。

⇒伊賀市は団員数が基準よりも多いため、手当の改善を図っているが十分ではない。

<その他>

- ・通学バスを充実させてほしいが、教育委員会の管轄になるのか。

⇒教育委員会の管轄になる。菅首相(当時)がスクールバスを増やすと言っていたので国の支援を働きかけていきたい。

伊賀市議会議長 様  
令和3年12月28日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 4 班  
班長 山下 典子

---